


十字架②

シリーズ～続 福音の力～

2021/3/28



十字架の出来事(四福音書の比較)

	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
兵士による侮辱(茨の冠)	○	○		
シモンに十字架を背負わせる	○	○	○	
エルサレムの婦人たちに			●	
「されこうべ」と呼ばれる場所で十字架につけられる	○	○	○	○
没薬を混ぜたぶどう酒を拒絶する	○	○		
父よ、彼らをお赦してください			●	
兵士が服を分け合う	○	○	○	◎
罪状書き	○	○	○	◎
二人の犯罪人	○	○	◎	
民衆らによる侮辱	○	○	○	

十字架の出来事(四福音書の比較)

	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
母マリアと弟子				●
全地が暗くなる	○	○	○	
最後の言葉・絶命	○	○	○	○
神殿の垂れ幕が裂ける	○	○	○	
脇腹を槍で突く				●
死者の復活	●			
百人体長の告白	○	○	○	
見守っていた人たち	○	○	○	
墓に葬られる	○	○	○	○
墓を見張る	●			

ルカ福音書23章39～43節

十字架にかけられていた犯罪人の一人が、イエスをののしった。「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ。」すると、もう一人の方がたしなめた。「お前は神をも恐れぬのか、同じ刑罰を受けているのに。我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」そして、「イエスよ、あなたの御国においでになるときには、わたしを思い出してください」と言った。するとイエスは、「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われた。

二人の犯罪人(強盗)

- ひとりはいエス様をののしった
 - 「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ。」
- もうひとは自らの罪を認めた
 - 「我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。」
- そしてイエス様に対する信仰を告白した
 - 「この方は何も悪いことをしていない。…イエスよ、あなたの御国においでになるときには、わたしを思い出してください」

二人の犯罪人(強盗)

- 一人はイエス様をののしった
 - 「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ。」
- もう一人は自らの罪を認めた
 - 「我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。」
- そしてイエス様に対する信仰
 - 「この方は何も悪いことをしていない。…イエスよ、あなたの御国においでになるときは、わたしを思い出してください」

イエス様を神と認めている

わたしと一緒に楽園にいる

- イエス様の驚きの言葉
 - 「するとイエスは、『はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる』と言われた。」
- 「楽園(パラダイス)」とは
 - 「勝利を得る者には、神の楽園にある命の木の実を食べさせよう。」黙示録2:7 > 神様のおられる所
- 無条件の救い
 - 彼は自らの罪と、イエス様を特別な方だと認めた
 - 何も出来ないがこの一言で救われた！
 - 信仰による救いの第一号！

わたしと一緒に楽園にいる

- イエス様の驚きの言葉
 - 「するとイエスは、『はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる』と言われた。」
- 「楽園(パラダイス)」とは
 - 「勝利を得る者には、神の楽園にある命の木の実を食べさせよう。」黙示録2:7 > 神様のおられる所
- 無条件の救い
 - 彼は自らの罪と、イエス様を特別に愛した
 - 何も出来ないがこの一言で救われた！
 - 信仰による救いの第一号！

死ぬ直前まで
チャンスはある

ルカ福音書23章44～49節

既に昼の十二時ごろであった。全地は暗くなり、それが三時まで続いた。太陽は光を失っていた。神殿の垂れ幕が真ん中から裂けた。イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言って息を引き取られた。百人隊長はこの出来事を見て、「本当に、この人は正しい人だった」と言って、神を賛美した。見物に集まっていた群衆も皆、これらの出来事を見て、胸を打ちながら帰って行った。イエスを知っていたすべての人たちと、ガリラヤから従って来た婦人たちとは遠くに立って、これらのことを見ていた。

十字架上の最期

- 全地が暗くなる
 - 正午から3時頃まで約3時間
 - 神の御子の悲惨な姿を自然界が隠した？
- 神殿の垂れ幕が真ん中から裂ける
 - 神と人とが直接結ばれたことの象徴
- 最期の言葉
 - 「イエスは大声で叫ばれた。『父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。』こう言って息を引き取られた。」
 - 母親が眠りにつく子どものために祈る祈り
 - ご自分のミッションを果たし休みにつく

目撃した人々の反応

- 百人体長の告白
 - 「百人隊長はこの出来事を見て、『**本当に、この人は正しい人だった**』と言って、神を賛美した。」
 - 多くの人々の最期を見てきた百人体長の告白
- 悲しみながら立ち去った人々
 - 「見物に集まっていた群衆も皆、これらの出来事を見て、**胸を打ちながら**帰って行った。」
 - イエス様を侮辱していた人たちも、彼の気高い最期を目撃して後悔した > **五旬節の日の悔い改め**

十字架が成し遂げた事柄

- **信仰による救いの完成**

- 「キリストは**唯一の献げ物**によって、聖なる者とされた人たちが永遠に完全な者となさったからです。」
ヘブライ10:14

- 「それは、**信じる者が皆**、人の子によって永遠の命を得るためである。」ヨハネ福音書3:15

- **神と人との関係の回復**

- 「イエスは、垂れ幕、つまり、御自分の肉を通して、**新しい生きた道**をわたしたちのために開いてくださったのです。」ヘブライ10:20

十字架が成し遂げた事柄

- **完全なる従順という見本**

- 「キリストは御子であるにもかかわらず、多くの苦しみによって従順を学ばれました。そして、完全な者となられたので、御自分に従順であるすべての人々に対して、**永遠の救いの源**となり…」ヘブライ 5:8-10

- **新しい契約の完成**

- 「食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。『この杯は、あなたがたのために流される、**わたしの血による新しい契約である。**』」ルカ22:20